

あさカジャ Vol.10

アンニョンハセヨ！

韓国水原市（スウォン）滞在中の湯浅です。

前回のあさカジャでは、私が韓国で訪れた地域について紹介しましたが、今回は水原市の観光地について紹介したいと思います！

🌟ピョルマダン図書館

ピョルマダン図書館は、2024年に開業した大型商業施設「スターフィールド水原」の中心に位置する文化複合型の読書空間です。4階から7階まで吹き抜けになった空間には、天井まで届く本棚が並び、圧巻の光景が広がっています！見上げると、思わず写真に収めたくなる景色です。この空間のそばにはカフェもあるので、テイクアウトしたコーヒーを片手にここに置かれている本を読んで楽しむこともできます。水原の新たなランドマークの一つとして特に若い人たちに人気があり、写真映えること間違いなしの場所です。



『星の庭』を意味するピョルマダン図書館



☀️ 日月樹木園（イルウォルスモクウォン）

日月樹木園は、2023年に開園した水原市の新しい生態ランドマークです。約10万平方メートルの広大な敷地に、2,000種以上・40万本以上の植物が植えられており、四季折々の景色を楽しむことができます。

園内にはテーマごとの庭園や展示温室が整備、またすぐ横には湖も広がっています。都市部で自然を身近に感じながら、ゆったりと過ごせる場所です。スタイリッシュな温室や美しい庭園では、ドラマ『涙の女王』が撮影されたことでも知られており、国内外の来場者が訪れています！

また、環境や生態について学べる場としての役割を持ち、水原市の環境都市づくりを象徴する施設の一つです。



出典Google : <https://www.suwon.go.kr/web/iwarbor/index.do>



☀ 解憂齋（ヘウジェ）

解憂齋は、“トイレ”をテーマにした世界でも珍しい文化・学習施設です。2002年FIFAワールドカップを契機に公衆トイレの環境改善を推進したシム・ジェドク元水原市長が、自身の私邸をトイレの形にデザインして建設したことが始まりです。

その後、建物は市に寄贈され、2010年に展示館として一般公開されました。現在は、衛生や環境、人権などを考える場として国内外から多くの来館者が訪れています。子ども向けにトイレの歴史や文化をわかりやすく紹介する展示も設けられており、幼稚園等の見学先にもなっています！

ユニークな外観も目を引きますが、実際に見学すると、トイレ文化の向上にかけた強い思いが伝わってきます。水原市が世界トイレ協会発祥の地であることも、この施設の大きな特徴です。



出典Google :<https://www.haewoojae.com:40002/m/load.asp?subPage=510>



☀️ クァンギョエリア

クァンギョは、水原市と隣の龍仁市にまたがって整備された比較的新しい地域です。2000年代後半から開発が進み、高層住宅や商業施設、学校、オフィスなどが集まる現代的な街並みが広がっています。

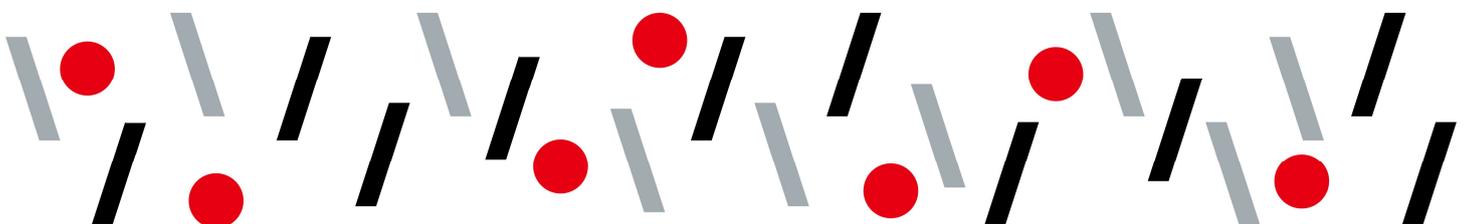
このエリアで代表的なのが、クァンギョ湖水公園です。美しく自然に囲まれたこの場所は、市民の憩いの場としても親しまれており、広い湖を囲む遊歩道では散歩やジョギングを楽しむ人々の姿が見られます。

周辺には個性あるカフェ通りがあり、コーヒーやおいしいスイーツを楽しみながら、ゆっくりと過ごすことができます。

歴史や伝統を感じられる水原華城エリアとは対照的に、クァンギョエリアは、『現代の水原』『市民生活』を感じられる地域です。



クァンギョ湖水公園（左）とカフェ通りで人気のパンケーキ（右）



☀️ 世界遺産・水原華城（スウォンファソン）

水原華城は、朝鮮王朝第22代王・正祖の命により1794年から1796年にかけて築かれ、1997年にはユネスコ世界文化遺産に登録されました。水原を代表する歴史遺産であり、国内外から多くの人を訪れています。

城郭の全長は約5.7km。四方に構える大きな門とともに、石とレンガで築かれた城壁が街を囲み、その姿は今も堂々とした存在感を放っています。個人的に印象的なのは、城郭や門が、市民が日常的に使用する道や街の中に存在することです。日常の景色の中で、歴史的建造物が自然に共存している様子に、新鮮さを感じます！

水原華城の全体図



この全体を水原華城といい、
周囲を城壁で囲まれています。
四方に大きな門を置き、
中心にあるのが華城行宮です。

出典Google :

<https://www.visitsuwon.or.kr/base/contents/view?contentsNo=12&menuLevel=3&menuNo=20>

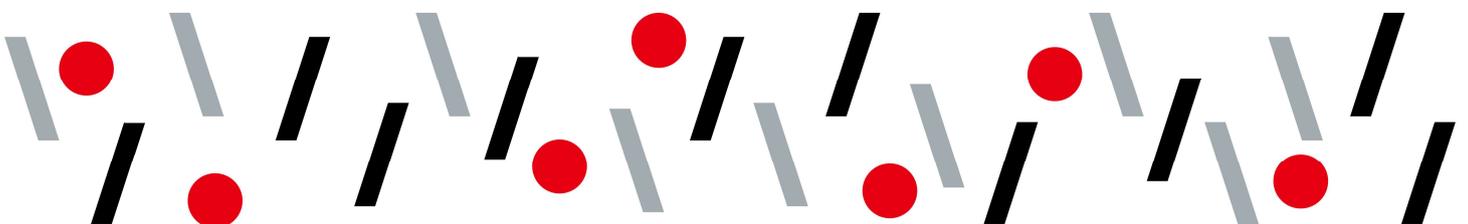


城壁の上では散歩やランニングを楽しむ人の姿があり、夕方には写真を撮る人や家族連れでにぎわいます。春は桜、夏は緑、秋は紅葉と、四季折々の景色が広がり、夜にはライトアップされた幻想的な表情も見ることができます。どの季節、どの時間を切り取っても違った魅力に出会える場所です。

そして、この水原華城の中心にあるのが華城行宮（ファソンヘングン）です。正祖が水原を訪れた際に滞在した臨時の宮殿で、滞在中は政務や公式行事も行われました。水原華城が町全体を囲む「外側の守り」だとすれば、華城行宮はその内側にある「都市の心臓部」のような存在です。ドラマ『チャングムの誓い』や『イ・サン』など、多くの時代劇の撮影にも使われた場所として知られており、まるで物語の中に入ったような、当時の雰囲気味わうことができます。

また、水原華城や華城行宮の周辺に広がるエリアは行宮洞（ヘングンドン）と呼ばれ、もともとは城郭都市の中心部として栄えた地域で、今も昔ながらの路地や住宅が残る一方、カフェや雑貨店、ギャラリーなども増えています。韓服体験や伝統茶体験に加え、弓矢体験や凧揚げなどの伝統的な遊びも行われており、歴史を“見る”だけでなく“体験する”ことができます。

近くには、伝統市場もあるため、韓国の日常を感じることもできま



ASAHIKAWA CITY

す。

『世界遺産を眺めながら日常を楽しむ』、この感覚は、城郭を持たない旭川市では感じることはできないとても新鮮な体験だと思います！



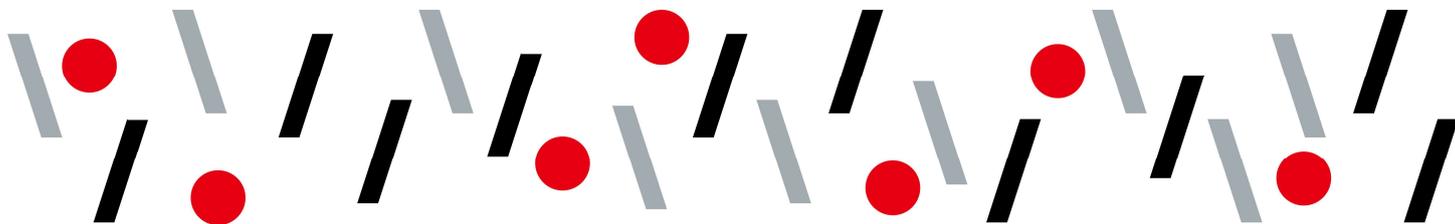
華城行宮（左）と奥まで続く水原華城の城壁（右）

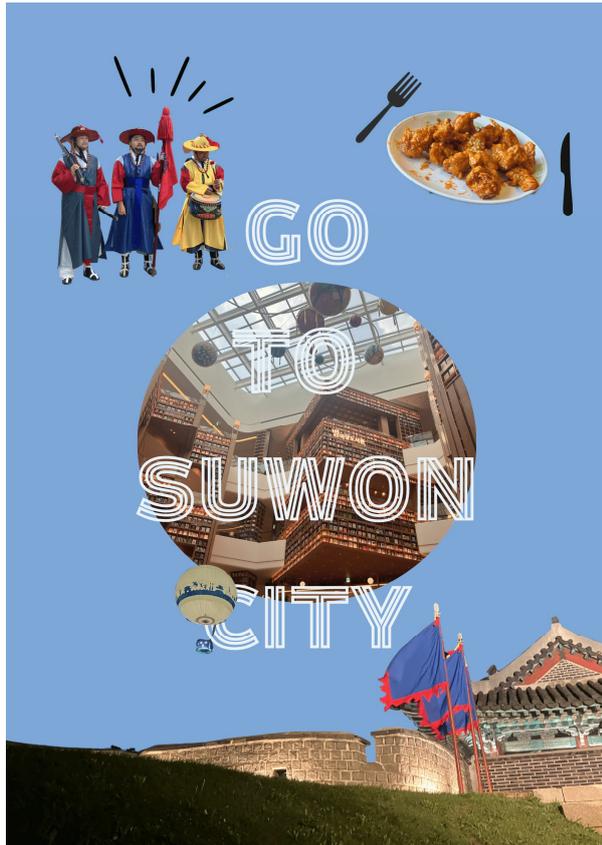
さて、ここまで水原市の主な観光地について説明してきました。今回のあさかジャを見て、皆さんがさらに水原市について関心を持ち、行ってみたい！と欲していただけばうれしいです。

最後に、私がお勧めする観光コースを提案します。

水原市へ旅行をする機会があれば、是非参考にしてください！

では皆さん、トマンナヨ ✨





SUWON TRAVEL

可愛いこと×楽しいこと

SCHEDULE

- 09:00 お洒落なカフェで朝ごはん 
- 10:00 スターフィールドで買い物をしながら、ピョルマダン図書館でフォトタイム
- 13:00 トンタク通りで韓国チキンを堪能
- 14:00 韓服を着て、華城行宮でフォトタイム
- 15:30 行宮洞のカフェや雑貨屋で可愛いもの探し
- 16:00 韓国式プリクラ『インセンネッコ』で思い出作り
- 18:00 フライングスウォンに乗り、夜景と一緒にフォトタイム

SUWON TRAVEL

食×伝統体験

SCHEDULE

- 09:00 華城行宮ツアー（日本語ガイド付き） 
- 11:00 南門市場で昔ながらの雰囲気を感じながらお土産探し 
- 12:00 市場近くのスنداタウンでスンデやチョッパルを体験
- 13:00 弓打ちを体験
- 14:30 伝統茶を実際に淹れてみる
淹れたお茶と一緒に韓菓（韓国伝統菓子）を味わう
- 16:00 水原市博物館で水原市の歴史を観賞する
- 18:00 伝統の味付けをされた水原カルビを堪能

SUWON TRAVEL

韓ドラの世界×SNS

SCHEDULE

- 09:00 華城御車に乗って水原華城を観光 
- 10:00 城壁を歩きながら、水原の歴史と現代の街並みを感じる
- 10:30 ドラマにも出てくる行宮洞壁画村を歩きながらフォトタイム
お洒落な雑貨屋にも寄り道
- 12:00 ドラマ『ウ・ヨウ弁護士は天才肌』に出てくるキンパ店で昼食
- 13:00 韓服に着替え、華城行宮を見学
韓国時代劇ドラマの世界を体験しながらフォトタイム
- 15:30 ドラマ『ソングジェ、背負って走れ』のソングジェの家の舞台
になったカフェで休憩
- 18:00 フライングスウォンから夜景観賞
- 19:00 トンタク通りでチメクを堪能

